

事後評価に係る資料
【海岸事業】

平成30年7月13日

(平成30年10月12日一部修正)

河 川 部

目 次

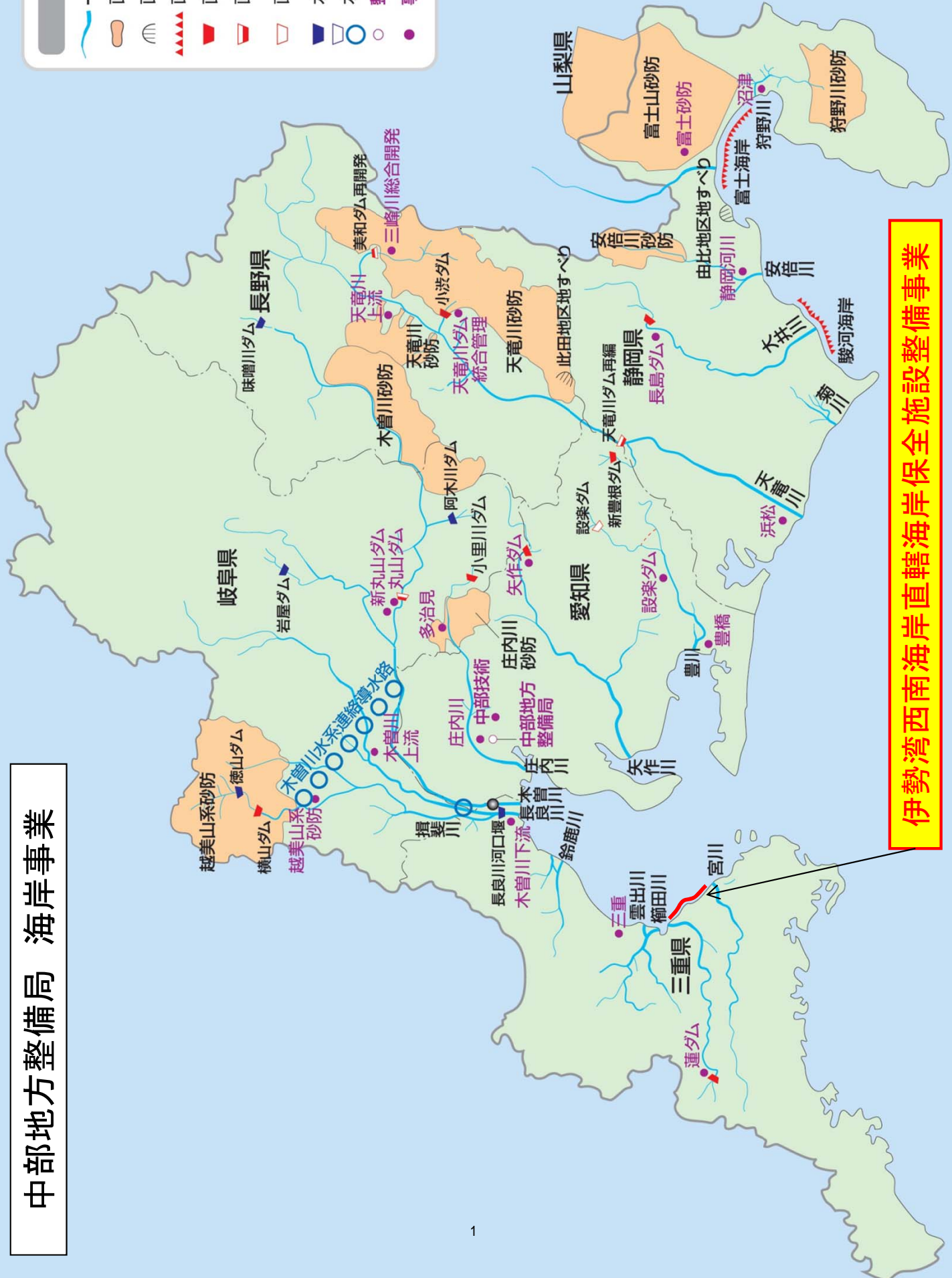
1. 事後評価対象事業位置図 ……1

2. 様式集
伊勢湾西南海岸直轄海岸
保全施設整備事業 ……2

中部地方整備局 海岸事業

凡例

- 一級水系
- 直轄砂防区域
- 直轄地すべり地区
- 直轄海岸施工区域
- 直轄ダム(管理中)
- 直轄ダム(再開発)
- 直轄ダム等(建設・実調中)
- 水機構(管理中)
- 水機構(建設・実調中)
- 整備局
- 事務所



伊勢湾西南海岸直轄海岸保全施設整備事業

事業名 (箇所名)	伊勢湾西南海岸直轄海岸保全施設整備事業		担当課	河川計画課	事業 主体	中部地方整備局				
			担当課長名	池原 貴一						
実施箇所	三重県松阪市、多気郡明和町、伊勢市									
該当基準	事業完了後一定期間(5年以内)が経過した事業									
主な事業 の諸元	堤防工:約11km、養浜工約166千m ³ 、突堤3基、耐震工約500m、緩傾斜堤防約750m									
事業期間	事業採択	平成4年	完了	平成25年						
総事業費 (億円)	採択時	296億円		完了時	160億円					
目的・必要 性	<p><解決すべき課題・背景等></p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢湾西南海岸は、昭和28年の台風第13号や昭和34年の伊勢湾台風等により、過去幾度となく甚大な災害に見舞われてきた。 昭和28年から31年には、建設省(国土交通省)により災害復旧工事が建設省初のコンクリート3面張り堤防として整備された。 <p><達成すべき目標></p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化の進んだ堤防の改修を行い、甚大な浸水被害を防止 砂浜幅の不足する箇所です砂流出防止工・養浜により浜幅を確保し越波災害を防止 地盤の液状化や堤防の安定性検討を踏まえ、耐震化を実施 自然環境の保全に配慮した整備を進め、昔の自然海岸に近い海岸空間を創出 <p><政策体系上の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> 政策目標:水害等災害による被害の軽減。 施策目標:高潮・侵食等による災害の防止・軽減を推進する。 									
便益の主 な根拠	浸水防護面積:25.7km ² 想定浸水区域内人口:約1.2万人									
事業全体 の 投資効率 性		B:総便益	(億円)	C:総費用	(億円)	B/C	B-C(億円)	EIRR(%)	基準年	
	当初	総便益	304	総費用	235	1.3	69	—	H18	
	事後	総便益	2,270	総費用	325	7.0	1945	12.8	H30	
事業の効果 の発現 状況	<ul style="list-style-type: none"> 事業が完了すれば、計画規模の高潮・波浪が発生しても浸水被害がなくなる。 自然環境に配慮し、安全で安心して利用できる海岸を目指し、計画の段階から地域と協働した海岸づくりを実施した。 <p>このことから、地域住民による環境学習や海岸清掃活動などにも活発に実施されており、人々に親しまれる賑わいの空間が提供されている。</p>									
事業実施 による環境 の変化	砂浜環境及び海域環境、動植物の保全に配慮した整備を進めたことにより、事業実施以降においても生息・産卵等を確認している。砂浜の整備により高潮による防護機能を高めるとともに、潮干狩りや環境学習等で多くの人に利用される海岸となっている。									
社会経済 情勢等 の変化	沿岸市町の人口は、若干減少しているものの、大きな変化は見られず、また、資産、土地利用に関しても大きな変化は見られない。									
今後の事業 評価の 必要性	事業実施以降に発生した高潮に対しても、浸水被害は発生していない。また、本事業の実施により、浸水被害の軽減効果及び事業の有効性は十分に見込まれることから、今後の事後評価の必要性はないと考える。									
改善措置 の必要性	事業実施以降に発生した高潮に対しても、浸水被害は発生していない。また、本事業の実施により、浸水被害の軽減効果及び事業の有効性は十分に見込まれることから、今後の改善処置の必要性はないと考える。									
同種事業 の計画・調 査のあり方 や事業評 価手法の 見直しの必 要性	事業評価手法は妥当と考え、現時点での見直しの必要性はないと考える。									
対応方針	対応なし									
対応方針 理由	事業効果の発現状況から、再度の事後評価の必要性はないと考える。 事業効果の発現状況から、事後評価制度に基づく改善処置の必要性はないと考える。									
その他	【第三者委員会の意見・反映内容】									

位置図



様式一1 便益一覧表

伊勢湾西南海岸直轄海岸保全施設整備事業
全体事業評価(事業開始前における確率別の浸水域の資産データ及び被害データ)

国勢調査年:平成22年

経済センサス調査年:平成26年

○資産データ

海岸名	防護面積		一般資産等基礎数量				一般資産額						農作物資産				一般資産 額等合計	備考	
	ha	人	世帯数	事業所数	農漁家数	水田面積 千m2	畑面積 千m2	家屋 百万円	家庭用品 百万円	事業所資産		農漁家資産		稲作 百万円	畑作物 百万円	果樹園 百万円			小計 百万円
										償却 百万円	在庫 百万円	償却 百万円	在庫 百万円						
伊勢湾西南海岸	253	1,316	398	39	52	321	17	13,571	5,201	466	216	88	26	19,567	310	34	344	19,911	1/10
伊勢湾西南海岸	799	2,847	813	96	114	1,025	75	34,872	10,637	1,405	710	192	56	47,870	992	149	1,141	49,012	1/20
伊勢湾西南海岸	2,486	11,795	3,629	411	414	3,072	193	139,388	47,480	10,595	7,318	694	202	205,678	2,974	383	3,358	209,035	1/30
伊勢湾西南海岸	2,543	12,099	3,726	420	426	3,134	200	142,438	48,755	10,853	7,513	714	208	210,481	3,034	398	3,431	213,912	1/40
伊勢湾西南海岸	2,574	12,307	3,793	429	433	3,158	202	144,600	49,638	11,099	7,690	725	212	213,962	3,057	402	3,459	217,421	1/50

○被害データ

海岸名	一般資産被害額						農作物被害額				農地被害額				一般資産 額等合計	備考
	家屋 百万円	家庭用品 百万円	事業所資産		農漁家資産		稲作 百万円	畑作物 百万円	果樹園 百万円	小計 百万円	農地 被害額 百万円	公共事業 被害額 百万円	公益事業 当被害額 百万円	合計 百万円		
			償却 百万円	在庫 百万円	償却 百万円	在庫 百万円										
伊勢湾西南海岸	2,128	2,258	180	69	24	13	310	34	344	1,032	6,047.29	181	17,114	1/10		
伊勢湾西南海岸	4,153	4,407	439	170	50	26	992	149	1,141	3,424	13,811.28	414	39,086	1/20		
伊勢湾西南海岸	18,030	17,963	3,882	2,187	163	82	2,974	383	3,358	10,073	55,736.56	1,672	157,734	1/30		
伊勢湾西南海岸	19,434	19,269	4,152	2,348	176	88	3,034	398	3,431	10,294	59,191.79	1,776	167,513	1/40		
伊勢湾西南海岸	20,324	19,939	4,348	2,498	184	91	3,057	402	3,459	10,378	61,219.91	1,837	173,252	1/50		

様式一 2 費用対便益（全体事業）

沿岸名：三河湾・伊勢湾 海岸名：伊勢湾西南 (百万円)

年次	年度	t	便 益				費 用				費用 便益比 B/C	純現在 価値 B-C			
			①		②	計	①建設費		②維持管理費				①+②		
			便益	現在価値	残存価値	①+②	費用	現在価値	費用	現在価値			費用	現在価値	
整備期間	H4	-26	0	0		0	340	1,046	0	0	340	1,046			
	H5	-25	0	0		0	463	1,366	0	0	463	1,366			
	H6	-24	0	0		0	485	1,354	0	0	485	1,354			
	H7	-23	0	0		0	669	1,791	0	0	669	1,791			
	H8	-22	0	0		0	793	2,045	0	0	793	2,045			
	H9	-21	0	0		0	470	1,157	0	0	470	1,157			
	H10	-20	0	0		0	549	1,320	0	0	549	1,320			
	H11	-19	0	0		0	383	897	0	0	383	897			
	H12	-18	0	0		0	488	1,115	0	0	488	1,115			
	H13	-17	0	0		0	1,184	2,651	0	0	1,184	2,651			
	H14	-16	0	0		0	1,070	2,331	0	0	1,070	2,331			
	H15	-15	0	0		0	251	523	0	0	251	523			
	H16	-14	0	0		0	346	687	0	0	346	687			
	H17	-13	0	0		0	483	913	0	0	483	913			
	H18	-12	0	0		0	640	1,149	0	0	640	1,149			
	H19	-11	0	0		0	1,299	2,198	0	0	1,299	2,198			
	H20	-10	0	0		0	1,152	1,817	0	0	1,152	1,817			
	H21	-9	0	0		0	1,843	2,849	0	0	1,843	2,849			
	H22	-8	0	0		0	774	1,147	0	0	774	1,147			
	H23	-7	0	0		0	355	499	0	0	355	499			
	H24	-6	0	0		0	954	1,300	0	0	954	1,300			
	H25	-5	0	0		0	283	361	0	0	283	361			
	施設完成後の評価期間（50年）	H26	-4	8,675	10,149		10,149			77.2	88.7	77.2	88.7		
		H27	-3	8,675	9,758		9,758			77.2	85.0	77.2	85.0		
		H28	-2	8,675	9,383		9,383			77.2	81.1	77.2	81.1		
H29		-1	8,675	9,022		9,022			77.2	78.0	77.2	78.0			
H30		0	8,675	8,675		8,675			77.2	75.0	77.2	75.0			
H31		1	8,675	8,341		8,341			77.2	72.1	77.2	72.1			
H32		2	8,675	8,021		8,021			77.2	69.3	77.2	69.3			
H33		3	8,675	7,712		7,712			77.2	66.7	77.2	66.7			
H34		4	8,675	7,415		7,415			77.2	64.1	77.2	64.1			
H35		5	8,675	7,130		7,130			77.2	61.6	77.2	61.6			
H36		6	8,675	6,856		6,856			77.2	59.3	77.2	59.3			
H37		7	8,675	6,592		6,592			77.2	57.0	77.2	57.0			
H38		8	8,675	6,339		6,339			77.2	54.8	77.2	54.8			
H39		9	8,675	6,095		6,095			77.2	52.7	77.2	52.7			
H40		10	8,675	5,861		5,861			77.2	50.7	77.2	50.7			
H41		11	8,675	5,635		5,635			77.2	48.7	77.2	48.7			
H42		12	8,675	5,418		5,418			77.2	46.8	77.2	46.8			
H43		13	8,675	5,210		5,210			77.2	45.0	77.2	45.0			
H44		14	8,675	5,010		5,010			77.2	43.3	77.2	43.3			
H45		15	8,675	4,817		4,817			77.2	41.6	77.2	41.6			
H46		16	8,675	4,632		4,632			77.2	40.0	77.2	40.0			
H47		17	8,675	4,454		4,454			77.2	38.5	77.2	38.5			
H48		18	8,675	4,282		4,282			77.2	37.0	77.2	37.0			
H49		19	8,675	4,118		4,118			77.2	35.6	77.2	35.6			
H50		20	8,675	3,959		3,959			77.2	34.2	77.2	34.2			
H51		21	8,675	3,807		3,807			77.2	32.9	77.2	32.9			
H52		22	8,675	3,660		3,660			77.2	31.7	77.2	31.7			
H53		23	8,675	3,520		3,520			77.2	30.4	77.2	30.4			
H54		24	8,675	3,384		3,384			77.2	29.3	77.2	29.3			
H55		25	8,675	3,254		3,254			77.2	28.1	77.2	28.1			
H56		26	8,675	3,129		3,129			77.2	27.1	77.2	27.1			
H57		27	8,675	3,009		3,009			77.2	26.0	77.2	26.0			
H58		28	8,675	2,893		2,893			77.2	25.0	77.2	25.0			
H59		29	8,675	2,782		2,782			77.2	24.1	77.2	24.1			
H60		30	8,675	2,675		2,675			77.2	23.1	77.2	23.1			
H61		31	8,675	2,572		2,572			77.2	22.2	77.2	22.2			
H62		32	8,675	2,473		2,473			77.2	21.4	77.2	21.4			
H63		33	8,675	2,378		2,378			77.2	20.6	77.2	20.6			
H64		34	8,675	2,286		2,286			77.2	19.8	77.2	19.8			
H65		35	8,675	2,198		2,198			77.2	19.0	77.2	19.0			
H66		36	8,675	2,114		2,114			77.2	18.3	77.2	18.3			
H67		37	8,675	2,033		2,033			77.2	17.6	77.2	17.6			
H68		38	8,675	1,954		1,954			77.2	16.9	77.2	16.9			
H69		39	8,675	1,879		1,879			77.2	16.3	77.2	16.3			
H70		40	8,675	1,807		1,807			77.2	15.6	77.2	15.6			
H71	41	8,675	1,737		1,737			77.2	15.0	77.2	15.0				
H72	42	8,675	1,671		1,671			77.2	14.4	77.2	14.4				
H73	43	8,675	1,606		1,606			77.2	13.9	77.2	13.9				
H74	44	8,675	1,545		1,545			77.2	13.4	77.2	13.4				
H75	45	8,675	1,485		1,485			77.2	12.8	77.2	12.8				
合計			433,752	226,735	240	226,975	15,272	30,515	3,858	1,962	19,130	32,477	7.0	194,498	

事業費の内訳書

海岸事業

事業名	伊勢湾西南海岸直轄海岸保全施設整備事業 (全体業費費)
------------	-----------------------------

※ () 欄に残事業費、全体事業費の別を記入すること。

評価年度	H30年度	事後評価
-------------	-------	-------------

※ 評価の種類(新規事業採択時評価、再評価、完了後の事後評価)の別を記入すること。

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
工事費			式		11,059		
	本工事費			式		11,019	
		堤防	m	11,142	7,532		
		護岸	m		0		
		胸壁	m		0		
		突堤	箇所	3	271		
		離岸堤	m		0		
		潜堤・人工リーフ	m		0		
		消波堤	m		0		
		養浜	千m ³	166	1,171		
		耐震工	m	500	41		
		緩傾斜堤防	m	750	2,004		
	その他	式					
	附帯工事費			式		40	
		水門・樋門	箇所				
排水機場		基					
その他		式		40			
用地費及補償費			式		121		
用地費			式	1	121		
補償費			式				
間接経費			式	1	3,601		
工事諸費			式	1	1,200		
事業費 計			式	1	15,981		

維持管理費	式	1	4,166	
-------	---	---	-------	--

※1 事業費については、事業の執行状況を踏まえて再評価ごとに適宜見直すこと。

※2 「工種」は、海岸保全施設の技術上の基準について(H16.4.12)の工種に準拠して記載すること。

※3 「金額」については、治水経済調査マニュアル(案)に準拠して記載すること。

※4 上記によらないものについては、過去の類似の実績等に基づき記載すること。

※5 備考欄に、一式計上している工種の内容等を記載すること。

事業費の内訳書

海岸事業

事業名	伊勢湾西南海岸直轄海岸保全施設整備事業（全体事業維持管理費）
------------	--------------------------------

※（ ）欄に残事業費、全体事業費の別を記入すること。

評価年度	H30年度	事後評価
-------------	-------	-------------

※ 評価の種類(新規事業採択時評価、再評価、完了後の事後評価)の別を記入すること。

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考		
工事費	維持的経費		式		3,112			
			式		1,672			
		堤防除草	式					
		堤防天端補修	式					
		高水敷整正	式					
		海岸巡視	式	1		191		
		側帯整備	式					
		緊急維持	式					
		管理施設等維持	式					
		水閘門操作	式					
		その他	式	1		1,481	CCTV,海象観測保守点検、汀線測量	
		修繕的経費		式			1,440	
			堤防・護岸修繕	式	1		1,440	
			水閘門修繕	式				
			IT関連修繕	式				
管理施設等修繕	式							
障害物撤去	式							
その他	式							
用地費及補償費			式					
	用地費		式					
	補償費		式					
間接経費			式	1	432			
工事諸費			式	1	622			
事業費 計			式	1	4,166			

※1 事業費については、事業の執行状況を踏まえて再評価ごとに適宜見直すこと。

※2 「工種」及び「金額」については、原則、治水経済調査マニュアル(案)に準拠して記載すること。

※3 上記によらないものについては、過去の類似の実績等に基づき記載すること。

※4 備考欄に、一式計上している工種の内容等を記載すること。